



カンジー博士から、小学校で学習する
漢字に関するクイズが届きました。
子どもたちにも話したくなる解説付きです。

A Q

次の中で、部首が違うものは
どれでしょう。

- ①漢 ②酒 ③永 ④準

②酒(他は「水」部)

漢字を構成するパーツのうち意味を表す中心的要素となつている文字を部首といいます。「酒」は《シ》と《酉》に分けることができ、《シ》(さんずい)は水に関係することを表し、《酉》は酒つぼをかたどった文字です(十二支のトリはのちの時代にできた意味です)。酒は液体なので《シ》を部首としてもいいのですが(実際にそうしている辞書もあります)、「酒」の古い字形では酉(酒つぼ)からシ(しずく)が外にこぼれている形に書かれており、伝統的な漢字の字典「康熙字典」では酉が意味の中心にあると考えると、この字を七画の「酉」部に収めています。



A Q

小学校で学習する漢字の中で、
最も画数が多い漢字は何画で
しょう。

二十画(競・議・護)

「競」「議」は四年生、「護」は五年生で学習します。

そもそも「画数」とは、何でしょう。漢字を書くときに、鉛筆などを紙につけてから離すまでに書かれる線や点を「筆画」といい、ある漢字がいくつの「筆画」からできているか、その総数が「画数」となります。

〈例〉子子子 三画

水水水水 四画

手書きの形と印刷の形では画数が異なるように見ることがあります。「糸」は一般の書物に使われる明朝体では七画(あるいは八画)に見えますが、手書きの形では六画になるので、小学校の教科書では手書きの形に合わせた教科書体で印刷されています。



解説:阿辻哲次(京都大学名誉教授)
専門は中国文化史、中国文字学。
著書に『戦後日本漢字史』、『漢字のはなし』など。

